**ケース検討シート(記入例)**　　　　　　 年 　月 　日 地域ケア会議分

ケース名：　イニシャル　　介護度：　　　　　年齢：　　　　性別：　　　　　町名：

|  |  |
| --- | --- |
| 本人の概要 | 家族構成、病名、支援が必要な状況や背景を記入　　夫と二人暮らし。脊柱管狭窄症あり、両下肢のしびれ、傷みがある。別居の長女が受診介助している。 |
| 本人の望む暮らし（実現したい生活） | 具体的に実現したい暮らしを記載例）・週に数回でもよいので、公園まで散歩に行きベンチに座って景色を見たい・自宅の風呂に入り、温まりながら一人でゆったりしたい。(痛みが和らぐ)・１日１食は自分で料理を作って食べたい。など |
| 本人の望む暮らしに対する現状 | 上記の望む暮らしに対し、現在どうしているのかを記載例）・１人での外出は、転倒が怖くて散歩は行っていない。　 ・夫に散歩の同行をお願いするが、忙しいと言って一緒に行けない。 |
| ・風呂のまたぎが怖いので、デイサービスで週２回入浴・ |
| ・火の管理が心配で家族からガスを使わないように言われ、行っていない。・５分以上立っていると痛みが強くなってしまうため、できない。 |
| フォーマルサービス | 介護保険サービスの内容、利用回数を記載デイサービス(週２回　入浴あり)・住宅改修（段差解消:玄関上り框、手すり設置）利用者基本情報に記載しきれなかった内容も記載 |
| インフォーマルサービス | 介護保険以外のサービスや地域の活動などを記載　サロン月１回参加　　 |
| 視点 | 視点における現状 |
| 健康状態 | 症状などをより具体的に記載例）・脊柱管狭窄症があり、午後になると痛みやしびれが強くなる。　 ・夜は疲れてしまい、テレビを見ながらウトウトしている。 |
| 生活機能 | 心身機能・構造 | 食欲、睡眠、口腔の状況、日常生活の支障、精神面などを記載例）・食欲はあるが、少量で満腹になってしまう。　 ・両下肢の痺れ、傷みが出るとすり足になり、階段が上がれない。　 ・最近、娘が来るたびに同じ話をするようになり、物忘れが気になってきたと娘が話している。 |
| 活動 | 起居動作、移動の状況、衣服の着脱、買い物、掃除の状況を記載例）・自宅内では、ところどころ家具等につかまり歩いている。 ・浴槽のまたぎは、痺れがあるため怖くてできない。　 ・お湯を沸かすことはできるが、コンロから離れない。・ゴミ出し等、外へ行くことは、夫が行っている。・買い物は、週１回、夫または娘と一緒に行きカートを押して歩いている。不足する物は、夫が近くのコンビニで購入している。 |
| 視点 | 現　状 |
| 生活機能 | 参加 | 日中活動、趣味や友人との交流、地域の行事への参加などを記載例）・杖を使用し昔からの知人と一緒に、月１回町内のサロンに行っている。　  |
| 背景因子 | 環境因子 | 家族、親戚とのつながり、よく利用していた社会資源例）・長女が市内に住み、週２回くらい来訪し、買い物、掃除を行っているが、夕方には孫の塾の送迎などがあるため帰っていく。　 ・広い道に出るまでが舗装されていない。　 ・公園までは３分くらいで行ける。 |
| 個人因子 | 成育歴・生活歴、性格、趣味・嗜好などを記載例）・23歳で結婚し、夫の親と同居していた。子は長男長女の2人　　 職歴はなく、家で料理や編み物などをして過ごしていた。　 ・両下肢のしびれや痛みが出現する前は、年に数回子ども家族と旅行にいていた。　 ・人込みはあまり得意ではない。 |
|  | **＊以下は会議当日に参加者が記入** |  |
|  |  |  |
| 検討内容参加者自身の取り組み |

R6年度使用版